



はまっこ

令和3年10月

校外学習を再開しました

「百聞は一見に如かず」…教室で教科書や資料集、ICT等を活用して学習することは大切なことです。さらに、学習したことについて実際に見学したり、体験したりすることで、より一層理解が深まり子供の興味や関心を高めることにつながります。

感染状況のステージが引き下げられたことを受け、10月より各学年の校外学習を再開しました。



【10月以降の校外学習】

1, 2年生	10月12日（火）	富山市ファミリーパーク
3 年生	10月8日（金）	ますのすしミュージアム、 県中央植物園、射水警察署
4 年生	10月28日（木）	六渡寺海岸清掃
	11月25日（木）	クリーンピア射水
5 年生	10月20日（水）	呉羽青少年自然の家
	11月8日（月）	新湊漁港昼セリ
	11月25日（木）	四季防災館
6 年生	10月29日（金）	宇奈月温泉方面



校外学習では、バスの中や見学先でのマナー、様々な人との関係等、学ぶことがたくさんあります。子供たちには、学年に応じて活動の目的を考えさせ、充実した一日となるようにしたいと考えています。

丸ごと一杯いただきました

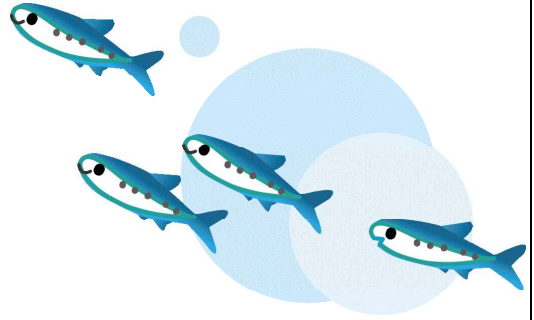
10月8日（金）は6年生の「カニ給食」の日でした。新湊漁業協同組合より射水市特産のベニズワイガニが一人一杯ずつ届きました。赤くゆであがりとても立派なカニで、お盆からはみ出すくらい大きさでした。6年生はこの日を待ちに待っていました。

高林先生のデモンストレーション後、子供たちは両手でカニを持ち上げ、足を取りプリプリした身を口に運んでいました。黙食のため感激の言葉を発することは控えていましたが、とても幸せそうな表情をしていました。



ウグイをつかまえよう

本校の横に流れる大石川には、淡水魚のウグイが多く生育しています。子供たちにとって海や川は小さい頃から身近なものですが、ウグイについては何となく知っていても、その姿を実際に見たことがある子供はあまりいません。そこで2年前より2年生が身近にある自然に親しむことをねらいとして、ウグイの飼育を行っています。



10月14日（木）、「海・川の森づくり」アドバイザーの野上克裕先生に来ていただき、仕掛けの作り方を教わりました。しばらく時間をおいて仕掛けを引き上げると、ウグイが何匹もかかっている子供たちは大喜び。捕まえたウグイのうち、小さいものを教室横の水槽に移し、他は川へ戻しました。小さいウグイが大きく元気に育つよう飼育していきます。

第2回学習参観 -タブレットを活用した学習-

9月に予定していた学習参観を10月17日（日）に延期して行いました。1回目同様、学友区ごとに2時間目と3時間目に分散して参観いただきました。当初「一家族1名」としていましたが、感染レベルが引き下げられたことを受け、「一家族2名まで」に変更しました。日曜日ということもあり、普段なかなか学校に足を運ぶことができないお父さんの姿がありました。



授業では多くの教室が様々な場面で一人1台端末を活用していました。学習の道具としての活用が定着してきたようです。一方、先月、「学習端末によるいじめ」が報道されました。ツールのもつ可能性と危険性を十分に想定して活用していきたいと思います。

就学時健診 -入学に備えて-

10月20日（水）、来年度入学予定の児童を対象にした就学時健診を行いました。就学時健診は学校保健安全法第11条に定められており、34名の子供たちが診断を受けました。子供たちは行儀よく並んで、歯科、眼科、耳鼻科、内科の学校医さんに診断してもらいました。

健康診断後、保護者の方は体育館で子育て井戸端会議に参加しました。アドバイザーは、本校のスクールソーシャルワーカー津幡佳代子先生で、子育てに関わる悩みや就学後の心配事についてアドバイスをいただきました。

一方、子供たちは低学年教室に移動し、就学に向けたスクリーニング検査を受けました。姿勢を正して児童机に座り、検査を受けている子供たちの姿は、すっかり小学生の雰囲気でした。

（校長 城岡 恭子）